

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 コロニー児童デイサービスうるま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10			・放課後児童デイのガイドラインでの子供一人当たり2.47㎡の床面はクリアしています。	
	2	職員の配置数は適切である	10			・配置基準は満たしている。	・配置基準は満たしているが、児童の特性等に 応じた配置数についての説明もしていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	3		・必要な個所は対応できている。	・必要に応じた設備への対策等、今後も行って いく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	2		・PDCAサイクルをもとに会議、MT等を行っている。	・今後はさらにきめ細かなサイクルの理解と共有 をもって進めていけたらと考えている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		・保護者の意見を聞き職員で話し合い業務改善を行っている。 ・保護者会で、自己評価の結果を踏まえ、疑問に回答している。	・保護者の意見を真摯に受け止め、事業への改善 に努めていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	2		・HPで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4	1	・他事業所との情報交換を行っており、参考点、見直すべき点等の工夫はしている。	・他事業所等の情報を聞きながら外部評価につ いても取り入れていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3		・動画等による学びの場を持つ機会がある。	・今後とも研修、学習の機会を設けていく。
適切な 支援の提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			・職員で話し合いの場を持ち活動に取り組んでいる。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			・様々な情報を集め活動に取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	2		・モニタリングを行い計画書の作成を行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			・毎日ミーティングを行い振り返りの場を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	4			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	1		・相談員を中心に、状況に応じたメンバーでの会議を実施しておりますが、詳細についてはMT等で説明させていただきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	5			・対象児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	1			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	3	2		・感染症の状況により実施できていない。今年度も企画はしていたが直前で実施できなかった。次年度も引き続き企画していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2	1		・うるま市における連絡会には参加させて頂いています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	1		・市町村からのペアトレ等の情報は周知している。	
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	2			・ゆんたく会等、コロナ禍の前は実施していた。次年度は再開できたらと考えてる。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			・保護者からの苦情や疑問点に関しては早急に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10				
	35	個人情報に十分注意している	10				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	3		・感染症等による制限があったが、次年度は以前の様に交流できたらと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1		・年に2回実施している。	・防犯マニュアルに関しては作成中であり、今年度はうま警察署が訪問し勉強会を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10				・研修等は参加しており、事例報告、定義の読み合わせを実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	1	1		・身体拘束に関しては、学習不足であり現在MT等で議論し、事例をとりあげる等、全体的に学習の場を設けスキルアップに繋げるよう心がけている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1			